

財務諸表等

令和元年度
(第6期事業年度)

自：平成31年 4月 1日
至：令和 2年 3月31日

独立行政法人 地域医療機能推進機構

目 次

I. 貸借対照表	3
II. 行政コスト計算書	5
III. 損益計算書	7
IV. 純資産変動計算書	11
V. キャッシュ・フロー計算書	13
VI. 利益の処分に関する書類	15
VII. 注記事項	17
VIII. 附属明細書	29
1. 固定資産の取得、処分、減価償却費（「第87特定の償却資産の減価に係る会計処理」及び「第91資産除去債務に係る特定の除去費用等の会計処理」による減価償却相当額も含む。）及び減損損失累計額の明細	
2. たな卸資産の明細	
3. 有価証券の明細	
4. 長期貸付金の明細	
5. 引当金の明細	
6. 貸付金等に対する貸倒引当金の明細	
7. 退職給付引当金の明細	
8. 資産除去債務の明細	
9. 資本剰余金の明細	
10. 運営費交付金以外の国等からの財源措置の明細	
11. 役員及び職員の給与の明細	
12. 開示すべきセグメント情報	
13. 公益法人等の概要及び財務状況等	
14. 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細	
VIII. 添付資料	
(1) 決算報告書	41
(2) 監査報告	45
(3) 会計監査報告	49
(4) 施設別財務書類	(別冊1)
(5) 事業報告書	(別冊2)

財 務 諸 表

貸借対照表
(令和2年3月31日)

【独立行政法人 地域医療機能推進機構】

(単位：円)

科 目	金 額	
資産の部		
I 流動資産		
現金及び預金		66,390,418,252
有価証券		55,500,000,000
医業未収金	55,686,769,250	
貸倒引当金(△)	△ 148,106,778	55,538,662,472
施設運営事業未収金	2,126,578,466	
貸倒引当金(△)	△ 1,097,464	2,125,481,002
未収金		1,608,437,638
医薬品		1,980,292,550
診療材料		944,517,428
給食用材料		82,095,827
貯蔵品		282,854,838
前払費用		842,362,467
未収収益		34,641,593
その他流動資産		246,947,436
流動資産合計		185,576,711,503
II 固定資産		
1 有形固定資産		
建物	242,952,540,191	
減価償却累計額	△ 73,499,873,450	165,743,935,435
減損損失累計額	△ 3,708,731,306	
構築物	1,821,318,490	
減価償却累計額	△ 467,032,754	1,351,023,873
減損損失累計額	△ 3,261,863	
医療用器械備品	65,239,450,222	
減価償却累計額	△ 46,538,028,440	18,699,639,696
減損損失累計額	△ 1,782,086	
その他器械備品	13,920,628,129	
減価償却累計額	△ 7,838,688,277	6,070,727,236
減損損失累計額	△ 11,212,616	
車両	2,018,161,914	
減価償却累計額	△ 1,697,289,300	320,872,614
放射性同位元素	16,276,560	
減価償却累計額	△ 4,809,389	11,467,171
土地	151,225,909,914	
減損損失累計額	△ 2,161,089,352	149,064,820,562
建設仮勘定		5,651,533,077
その他有形固定資産	318,511,140	
減価償却累計額	△ 3,246,476	315,264,664
有形固定資産合計		347,229,284,328
2 無形固定資産		
借地権		500,000
ソフトウェア		6,180,773,309
電話加入権		3,820,000
その他無形固定資産		9,088,200
無形固定資産合計		6,194,181,509
3 投資その他の資産		
長期貸付金		783,929,084
破産更生債権等	489,535,311	
貸倒引当金(△)	△ 489,535,311	0
長期前払費用		540,129,258
災害備蓄在庫		47,774,794
その他投資資産		55,673,404
投資その他の資産合計		1,427,506,540
固定資産合計		354,850,972,377
資産合計		540,427,683,880

科 目	金 額		
負債の部			
I 流動負債			
預り補助金等	7,558,000		
預り寄附金	22,344,375		
買掛金	14,596,421,315		
未払金	26,590,119,873		
一年以内支払リース債務	17,401,176		
未払消費税等	202,091,300		
預り金	2,020,979,382		
前受金	39,531,192		
未払費用	108,449,838		
前受収益	2,929,860		
引当金			
賞与引当金	11,112,504,576		
一年以内履行資産除去債務	2,723,280		
その他流動負債	396,365,702		
流動負債合計		55,119,419,869	
II 固定負債			
資産見返負債			
資産見返補助金等	2,809,450,757		
資産見返寄附金	95,692,059		
引当金			
退職給付引当金	26,371,587,502		
リース債務	36,792,345		
資産除去債務	647,542,452		
その他固定負債	6,000,000		
固定負債合計		29,967,065,115	
負債合計			85,086,484,984
純資産の部			
I 資本金			
政府出資金	85,491,182,587		
資本金合計		85,491,182,587	
II 資本剰余金			
資本剰余金	366,665,103,189		
その他行政コスト累計額			
除売却差額相当累計額	3,630,243		
資本剰余金合計		366,668,733,432	
III 利益剰余金			
当期末処分利益	3,181,282,877		
(うち当期総利益)	(3,181,282,877)		
利益剰余金合計		3,181,282,877	
純資産合計			455,341,198,896
負債純資産合計			540,427,683,880

行政コスト計算書

(平成 31年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月 31日)

【独立行政法人 地域医療機能推進機構】

(単位：円)

科 目	金 額	金 額
I 損益計算書上の費用		
診療業務費	353,361,593,322	
介護業務費	13,993,106,701	
教育業務費	1,077,836,768	
一般管理費	2,295,560,111	
その他経常費用	574,783,494	
臨時損失	1,085,161,898	
損益計算書上の費用		372,388,042,294
II その他行政コスト		
除売却差額相当額	109,471,384	
その他行政コスト合計		109,471,384
III 行政コスト		372,497,513,678

損 益 計 算 書

(平成 31年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月 31日)

【独立行政法人 地域医療機能推進機構】

(単位：円)

科 目	金 額		
経常収益			
I 診療業務収益			
医業収益			
入院診療収益	222,908,328,080		
室料差額収益	5,282,887,877		
外来診療収益	99,306,268,020		
保健予防活動収益	26,352,051,549		
その他医業収益	2,064,080,969		
保険等査定減(△)	△ 1,186,087,551	354,727,528,944	
研究収益			
研究収益		437,677,810	
補助金等収益			
補助金等収益		1,234,608,546	
寄附金収益			
寄附金収益		54,186,524	
その他診療業務収益		2,870,793,107	
診療業務収益合計			359,324,794,931
II 介護業務収益			
介護収益			
介護保健施設介護料収益	8,548,006,277		
在宅サービス介護料収益	2,341,812,370		
介護予防在宅サービス介護料収益	216,730,352		
居宅介護支援介護料収益	493,787,052		
室料差額収益	217,804,399		
利用者等利用料収益	2,005,440,699		
その他介護収益	48,524,322		
介護報酬査定減(△)	△ 264,130	13,871,841,341	
補助金等収益			
補助金等収益		15,038,215	
寄附金収益			
寄附金収益		1,406,675	
その他介護業務収益		520,747,422	
介護業務収益合計			14,409,033,653
III 教育業務収益			
看護師等養成所収益		474,523,080	
研修収益		11,435,800	
補助金等収益			
補助金等収益		39,206,189	
寄附金収益			
寄附金収益		708,000	
その他教育業務収益		49,567,567	
教育業務収益合計			575,440,636
IV その他経常収益			
財務収益			
受取利息		42,200,436	
土地建物等貸付料収入		331,888,270	
宿舍貸付料収入		331,072,530	
補助金等収益			
補助金等収益		11,447,200	
その他経常収益		442,011,912	
その他経常収益合計			1,158,620,348
経常収益合計			375,467,889,568

科 目	金 額		
経常費用			
I 診療業務費			
給与費			
給料	129,495,421,225		
賞与	20,725,941,449		
賞与引当金繰入額	9,012,626,581		
退職給付費用	5,805,627,481		
法定福利費	20,104,951,822	185,144,568,558	
材料費			
医薬品費	53,033,297,678		
診療材料費	32,184,317,692		
医療消耗器具備品費	1,686,728,185		
給食用材料費	3,039,845,467	89,944,189,022	
委託費			
検査委託費	3,225,832,128		
給食委託費	2,763,132,420		
寝具委託費	636,730,511		
医事委託費	7,477,076,365		
清掃委託費	2,221,754,191		
保守委託費	1,638,165,739		
その他の委託費	9,143,649,565	27,106,340,919	
設備関係費			
減価償却費	17,956,718,845		
修繕費	2,049,612,754		
器機賃借料	4,900,599,364		
地代家賃	446,694,612		
固定資産税等	23,447,100		
器機保守料	6,914,478,530		
器機設備保険料	92,532,496		
車両関係費	169,860,732	32,553,944,433	
研究研修費			
経費			
福利厚生費	409,208,652		
旅費交通費	512,184,048		
通信費	924,303,013		
消耗品費	2,634,404,335		
消耗器具備品費	1,840,246,379		
水道光熱費	7,192,428,710		
租税公課	1,712,831,858		
医業貸倒損失	287,264		
貸倒引当金繰入額	77,244,742		
低価法評価損	18,598,438		
その他	2,885,095,512	18,206,832,951	
診療業務費合計			353,361,593,322
II 介護業務費			
給与費			
給料	6,098,969,162		
賞与	1,417,639,808		
賞与引当金繰入額	504,934,905		
退職給付費用	381,039,940		
法定福利費	1,138,688,806	9,541,272,621	
材料費			
医薬品費	171,821,384		
給食用材料費	698,963,289		
介護診療材料費	77,785,649		
利用者等材料費	83,337,968		
介護療養消耗器具備品費	22,426,609	1,054,334,899	
委託費			
検査委託費	5,315,908		
給食委託費	646,380,880		
寝具委託費	78,148,254		
清掃委託費	189,150,524		
保守委託費	108,605,413		
その他の委託費	402,452,029	1,430,053,008	
設備関係費			
減価償却費	713,912,236		
修繕費	45,079,588		
器機賃借料	61,250,608		
地代家賃	16,568,336		
器機保守料	55,196,453		
器機設備保険料	7,365,006		
車両関係費	62,510,206	961,882,433	
研究研修費			
経費			
福利厚生費	24,320,195	10,972,951	

科 目	金 額		
旅費交通費	7,850,124		
通信費	35,228,285		
消耗品費	91,949,163		
消耗器具備品費	58,614,783		
水道光熱費	650,338,801		
租税公課	30,189,939		
その他	95,147,863		
貸倒引当金繰入額	951,636	994,590,789	
介護業務費合計			13,993,106,701
III 教育業務費			
給与費			
給料	418,950,604		
賞与	81,571,944		
賞与引当金繰入額	29,729,752		
退職給付費用	23,721,354		
法定福利費	73,557,286	627,530,940	
経費			
福利厚生費	1,076,772		
臨床実習協力費	5,144,034		
旅費交通費	3,314,344		
通信費	5,683,689		
消耗品費	21,621,545		
消耗器具備品費	9,471,414		
生徒関連諸費	19,402,812		
水道光熱費	66,716,779		
減価償却費	195,702,306		
その他	122,172,133	450,305,828	
教育業務費合計			1,077,836,768
IV 一般管理費			
給与費			
給料	870,965,198		
役員報酬	69,456,400		
賞与	196,676,968		
賞与引当金繰入額	114,469,793		
退職給付費用	78,186,496		
法定福利費	181,298,876	1,511,053,731	
経費			
福利厚生費	2,251,054		
旅費交通費	43,480,417		
通信費	11,613,900		
消耗品費	20,236,376		
消耗器具備品費	10,724,934		
水道光熱費	13,837,585		
賃借料	44,550,575		
租税公課	3,559,543		
減価償却費	351,161,806		
資産除去債務履行差額	173,740,000		
その他	109,350,190	784,506,380	
一般管理費合計			2,295,560,111
V その他経常費用			
財務費用			
支払手数料		216,833,138	
その他経常費用		357,950,356	
その他経常費用合計			574,783,494
経常費用合計			371,302,880,396
経常利益			4,165,009,172
臨時利益			
固定資産売却益		3,202,505	
その他臨時利益		98,233,098	101,435,603
臨時損失			
固定資産売却損		466,563	
固定資産除却損		174,606,188	
固定資産減損損失		163,479,681	
賠償金等負担額		46,402,897	
その他臨時損失		700,206,569	1,085,161,898
当期純利益			3,181,282,877
当期総利益			3,181,282,877

純資産変動計算書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

【独立行政法人 地域医療機能推進機構】

(単位：円)

	I 資本金		II 資本剰余金			III 利益剰余金					純資産合計
	政府出資金	資本金合計	資本剰余金	その他行政 コスト累計額	資本剰余金 合計	前中期目標期 間繰越積立金	積立金	当期末処分利 益（又は当期 未処理損失）	うち当期総利 益（又は当期 総損失）	利益剰余金 （又は繰越失 損金）合計	
				除売却差額相 当累計額 （△）							
当期首残高	85,491,182,587	85,491,182,587	362,350,542,655	113,101,627	362,463,644,282	—	2,155,841,657	2,158,714,877	2,158,714,877	4,314,556,534	452,269,383,403
当期変動額											
I 資本金の当期変動額											
II 資本剰余金の当期変動額											
固定資産の取得			4,314,560,534		4,314,560,534						4,314,560,534
固定資産の除売却				△ 109,471,384	△ 109,471,384						△ 109,471,384
III 利益剰余金（又は繰越欠損金）の当期変動額											
(1) 利益の処分又は損失の処理											
前中期目標期間からの繰越し						4,314,556,534	△ 4,314,556,534			—	
利益処分による積立							2,158,714,877	△ 2,158,714,877	△ 2,158,714,877	—	
(2) その他											
当期純利益（又は当期純損失）								3,181,282,877	3,181,282,877	3,181,282,877	3,181,282,877
前中期目標期間繰越積立金取崩額						△ 4,314,556,534				△ 4,314,556,534	△ 4,314,556,534
当期変動額合計	—	—	4,314,560,534	△ 109,471,384	4,205,089,150	—	△ 2,155,841,657	1,022,568,000	1,022,568,000	△ 1,133,273,657	3,071,815,493
当期末残高	85,491,182,587	85,491,182,587	366,665,103,189	3,630,243	366,668,733,432	—	—	3,181,282,877	3,181,282,877	3,181,282,877	455,341,198,896

キャッシュ・フロー計算書
(平成 31年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月 31日)

【独立行政法人 地域医療機能推進機構】

(単位：円)

科 目	金 額
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	
診療業務活動によるキャッシュ・フロー	
医業収入	354,854,913,735
研究による収入	434,007,042
補助金等収入	1,755,332,185
寄附金収入	12,593,400
その他の収入	3,278,310,492
人件費支出	△181,247,019,000
材料の購入による支出	△89,906,806,476
その他の業務支出	△58,634,442,826
小計	<u>30,546,888,552</u>
介護業務活動によるキャッシュ・フロー	
介護収入	13,929,462,282
補助金等収入	4,146,562
寄附金収入	970,000
その他の収入	429,725,138
人件費支出	△9,081,408,514
材料の購入による支出	△1,041,040,841
その他の業務支出	△2,693,282,046
小計	<u>1,548,572,581</u>
教育業務活動によるキャッシュ・フロー	
看護師等養成による収入	474,163,082
研修による収入	11,435,800
補助金等収入	39,226,378
寄附金収入	60,000
その他の収入	53,230,151
人件費支出	△611,575,759
その他の業務支出	△254,900,733
小計	<u>△288,361,081</u>
その他の業務活動によるキャッシュ・フロー	
補助金等収入	10,132,200
その他の収入	1,206,056,071
人件費支出	△1,429,452,867
その他の業務支出	△1,514,045,866
小計	<u>△1,727,310,462</u>
利息の受取額	42,200,436
業務活動によるキャッシュ・フロー	<u>30,121,990,026</u>
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	79,040,000,000
定期預金の預入による支出	△92,640,000,000
有価証券の償還による収入	128,500,000,000
有価証券の取得による支出	△126,000,000,000
有形固定資産の売却による収入	95,272,510
有形固定資産の取得による支出	△28,967,792,511
無形固定資産の取得による支出	△4,035,952,114
資産除去債務の履行による支出	△427,540,000
貸付金の回収による収入	85,204,634
貸付けによる支出	△315,931,804
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△44,666,739,285</u>
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
リース債務の返済による支出	△73,813,329
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△73,813,329</u>
IV 資金増加額	△14,618,562,588
V 資金期首残高	28,908,980,840
VI 資金期末残高	<u><u>14,290,418,252</u></u>

利益の処分に関する書類
(令和 2年 7月 31日)

【独立行政法人 地域医療機能推進機構】

(単位：円)

科 目	金 額	
I 当期末処分利益 当期総利益	3,181,282,877	3,181,282,877
II 利益処分額 積立金	3,181,282,877	3,181,282,877

注 記 事 項

I. 重要な会計方針

当事業年度より、改訂後の「独立行政法人会計基準」及び「独立行政法人会計基準注解」（平成30年9月3日改訂）並びに「『独立行政法人会計基準』及び『独立行政法人会計基準注解』に関するQ&A」（平成31年3月最終改訂）（以下「独立行政法人会計基準等」という。）を適用して、財務諸表等を作成しております。

1. 減価償却の会計処理方法

(1) 有形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な資産の耐用年数は以下のとおりであります。

建 物	3 ～ 47年
構築物	2 ～ 75年
医療用器械備品	2 ～ 10年
その他器械備品	2 ～ 20年
車両	2 ～ 7年
放射性同位元素	2 ～ 30年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、法人内で利用するソフトウェアについては、法人内における利用可能期間（5～7年）に基づいております。

2. 退職給付に係る引当金及び見積額の計上基準

役職員の退職給付に備えるため、当該事業年度末における退職給付債務の見込額を計上しております。

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、期間定額基準によっております。

過去勤務費用は、その発生事業年度に一括費用処理することとしております。

数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における職員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（9年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理することとしております。

3. 貸倒引当金の計上基準

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等の特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

4. 賞与引当金の計上基準

役員に対して支給する業績年俸及び職員に対して支給する賞与に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

5. 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券については、償却原価法によっております。

6. たな卸資産の評価基準及び評価方法

(1) 医薬品

最終仕入原価法に基づく低価法

(2) 診療材料

最終仕入原価法に基づく低価法

(3) 給食用材料

最終仕入原価法に基づく低価法

(4) 貯蔵品

金券類は個別法、その他は最終仕入原価法に基づく低価法

7. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっております。

8. 固定資産の減損の処理方法

固定資産の減損に係る会計基準（「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」（企業会計審議会 平成14年8月9日））および「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 企業会計基準適用指針第6号 最終改正 平成21年3月27日改正）を適用しております。

II. 貸借対照表

1. 純資産の部の表示方法の変更

損益外除売却差額相当額については、前事業年度まで資本剰余金に含めて表示しておりましたが、独立行政法人会計基準等の改訂に伴い、当事業年度より、その他行政コスト累計額の除売却差額相当累計額として表示しております。

損益外除売却差額相当額について表示方法を変更したことにより、資本剰余金の当期首残高が113,101,627円減少し、除売却差額相当累計額の当期首残高が113,101,627円増加しております。

2. その他行政コスト累計額のうち、出資を財源に取得した資産に係る金額

686,386円

III. 行政コスト計算書

1. 独立行政法人の業務運営に関して国民の負担に帰せられるコスト

① 行政コスト	372,497,513,678円
② 自己収入等	△374,269,025,021円
③ 機会費用	9,342,707円

独立行政法人の業務運営に関して

国民の負担に帰せられるコスト △1,762,168,636円

2. 機会費用の計上方法

(1) 国又は地方公共団体の財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用の計算方法

近隣の地代や賃貸料等を参考に計算しております。

(2) 政府出資又は地方公共団体出資等の機会費用の計算に使用した利率

10年利付国債の令和2年3月末利回りを参考に0.005%で計算しております。

IV. 損益計算書

1. 国又は地方公共団体からの受託による収益の科目別内訳

① その他医業収益	43,971,182円
② その他診療業務収益	253,592,368円
③ 居宅介護支援介護料収益	2,655,140円
④ その他介護収益	7,538,578円
⑤ その他介護業務収益	309,278,976円
⑥ その他経常収益	118,583,551円
合 計	<u>735,619,795円</u>

2. 受取利息の内訳

① 受取利息	8,007,958円
② 有価証券利息	34,192,478円
合 計	<u>42,200,436円</u>

3. 固定資産売却益の内訳

① 建物	1,079,999円
② 車両	2,122,506円
合 計	<u>3,202,505円</u>

4. 固定資産売却損の内訳

① 建物	466,560円
② 車両	3円
合 計	<u>466,563円</u>

5. 固定資産減損損失

(1) 減損損失の金額及び内訳

(単位：円)

用途	場所	減 損 損 失			
		建 物	土 地	その他	計
事業用資産 (校舎等)	兵庫県神戸 市北区惣山 町2丁目1-1	14,608,557	—	—	14,608,557
遊休資産 (検査棟等)	大分県由布 市湯布院町 川南字樋湯 尻241番地5 外1箇所	147,645,600	—	1,225,524	148,871,124
合 計		162,254,157	—	1,225,524	163,479,681

(2) 減損損失の認識に至った経緯

事業用資産については、事業(看護学校)の廃止を決定したことにより回収可能価額が帳簿価額を下回っているため、減損損失を認識しております。また、遊休資産については、将来の使用が見込まれておらず、回収可能価額が帳簿価額を下回っているため、減損損失を認識しております。

(3) 資産のグルーピングの方法

当機構は、機構全体が一体となって地域医療を担っていることから、全体で一つの資産グループとしております。

ただし、将来の使用が見込まれていない遊休資産及び事業の大幅な縮小や廃止に関する意思決定を行った資産については、それぞれ個別にグルーピングしております。

(4) 回収可能価額の算定方法

回収可能価額は、正味売却価額によって測定しております。正味売却価額については、不動産鑑定評価額などにに基づき算定しております。

V. キャッシュ・フロー計算書

1. 資金の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金及び預金勘定	66,390,418,252円
現金及び預金勘定のうち定期預金	52,100,000,000円
資金期末残高	<u>14,290,418,252円</u>

2. 重要な非資金取引

該当事項はありません。

VI. 金融商品関係

1. 金融商品の状況に関する事項

当機構の資金運用については、公債、預金及び金融信託に限定し、また、資金調達については財政融資資金からの借入によっております。

診療報酬債権に係る回収リスクは、収入管理事務要領等に沿ってリスク低減を図っております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：百万円)

区 分	貸借対照表 計 上 額	時 価	差 額
(1) 現金及び預金	66,390	66,390	—
(2) 有価証券	55,500	55,500	—
(3) 医業未収金	55,687	55,687	—
(4) 買掛金	(14,596)	(14,596)	—
(5) 未払金	(26,590)	(26,590)	—

(注1) 負債に計上されているものは()で示しております。

(注2) 金融商品の時価の算定方法に関する事項

- (1) 現金及び預金、(2) 有価証券、(3) 医業未収金、(4) 買掛金、
(5) 未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、帳簿価額によっております。

VII. 退職給付引当金

1. 採用している退職給付制度の概要

当機構は役職員の退職給付に充てるため、退職一時金制度を設けております。

2. 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

区 分	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日
期首における退職給付債務(A)	25,815,833,513円
勤務費用(B)	5,691,613,863円
利息費用(C)	25,750,038円
数理計算上の差異の当期発生額(D)	1,410,606,568円
退職給付の支払額(E)	1,808,873,031円
過去勤務費用の当期発生額(F)	0円
その他(G)	548,198円
期末における退職給付債務(H) = (A)+(B)+(C)+(D)-(E)+(F)+(G)	31,135,479,149円

3. 退職給付債務と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

区 分	令和2年3月31日現在
退職給付債務(A)	31,135,479,149円
未認識数理計算上の差異(B)	△4,763,891,647円
退職給付引当金(C) = (A)+(B)	26,371,587,502円

4. 退職給付に関する損益

区 分	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日
勤務費用(A)	5,691,613,863円
利息費用(B)	25,750,038円
数理計算上の差異の費用処理額(C)	547,706,506円
過去勤務費用の当期の費用処理額(D)	0円
合計(E) = (A)+(B)+(C)+(D)	6,265,070,407円

(注) 上記退職給付費用以外に他の機関からの出向者等にかかる退職給付費用の負担分として、23,504,864円を計上しております。

5. 数理計算上の計算基礎に関する事項

区 分	令和2年3月31日現在
割引率	0.1%

VIII. 資産除去債務関係

1. 資産除去債務の概要

当機構は労働安全衛生法等の規定により生ずる債務として、所有する建物の解体時におけるアスベストの除去費用及び、医療用器械備品等の廃棄時における放射性同位元素及び放射化物の除去費用、照明装置の廃棄時におけるポリ塩化ビフェニルの除去費用並びに不動産の賃貸借契約等に基づき、賃貸借契約等の終了時に生じる原状回復に係る債務につき資産除去債務を計上しております。

2. 資産除去債務の金額の算定方法

資産除去債務の見積もりにあたり、取得時からの使用見込期間を有形固定資産の耐用年数及び賃貸借契約期間等を参考に2年から27年と見積もっております。

割引率は当該期間を勘案し、使用見込期間に見合う国債の利回りを参考に算定しており、0%から1.637%となっております。

3. 当事業年度における資産除去債務の総額の増減

区 分	金 額
期首残高	900,839,127円
有形固定資産の取得等に伴う増加	0円
時の経過による調整額	3,226,605円
資産の除去等による履行額	△253,800,000円
期末残高	650,265,732円

IX. 不要財産に係る国庫納付関係

該当事項はありません。

X. オペレーティング・リース取引

貸借対照表日後一年以内のリース期間に係る未経過リース料 4,843,062円

XI. 重要な債務負担行為

該当事項はありません。

XII. 追加情報

新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大に伴い、当機構は地域の感染状況や医療提供体制の確保状況を踏まえた国や自治体の要請に基づき、地域の他の医療機関とも連携し、地域の実情や各病院の機能等に応じた医療及び介護を持続的に提供しています。

このような状況から、感染防止のため余儀なくされた医療等の一部制限による収入の減少や、体制整備による支出の増加等に起因し、令和2年4月以降の業績低下が継続しているため、短期的な業績回復は困難であるものの、中期的には回復すると仮定して会計上の見積り（主として、固定資産の減損）を行っております。

なお、上記の見積りに用いた仮定の不確実性は高く、新型コロナウイルス感染症の感染状況が変化した場合には、翌年度以降の会計上の見積りに影響を与える可能性があります。

XIII. 重要な後発事象

該当事項はありません。

XIV. その他独立行政法人の状況を適切に開示するために必要な会計情報

独立行政法人固有の会計処理に伴う科目は、以下のとおりです。

- (1) 預り補助金等
- (2) 預り寄附金
- (3) 資産見返負債
- (4) その他行政コスト累計額
- (5) 除売却差額相当累計額
- (6) 補助金等収益
- (7) 寄付金収益

財務諸表
(附属明細書)

1. 固定資産の取得、処分、減価償却費（「第87 特定の償却資産の減価に係る会計処理」及び「第91 資産除去債務に係る特定の除去費用等の会計処理」による減価償却相当額も含む。）及び減損損失累計額の明細

(単位:円)

資産の種類	期首 残高	当期 増加額	当期 減少額	期末 残高	減価償却累計額		減損損失累計額		差引当期 末残高	摘要	
					当期償却額	当期減損額					
有形固定 資産(償却 費損益内)	建物	224,533,950,979	18,856,750,296	438,161,084	242,952,540,191	73,499,873,450	9,352,832,075	3,708,731,306	162,254,157	165,743,935,435	注1
	構築物	1,653,764,604	169,478,686	1,924,800	1,821,318,490	467,032,754	124,854,185	3,261,863	1,225,524	1,351,023,873	
	医療用器械備品	59,963,349,084	6,095,321,671	819,220,533	65,239,450,222	46,538,028,440	6,498,200,994	1,782,086	0	18,699,639,696	注2
	その他器械備品	10,609,832,191	3,794,662,268	483,866,330	13,920,628,129	7,838,688,277	1,564,250,647	11,212,616	0	6,070,727,236	
	車両	1,922,422,345	163,550,829	67,811,260	2,018,161,914	1,697,289,300	171,145,716	0	0	320,872,614	
	放射性同位元素	16,276,560	—	—	16,276,560	4,809,389	3,057,912	0	0	11,467,171	
	その他有形固定資産	3,246,481	—	—	3,246,481	3,246,476	0	0	0	5	
計	298,702,842,244	29,079,763,750	1,810,984,007	325,971,621,987	130,048,968,086	17,714,341,529	3,724,987,871	163,479,681	192,197,666,030		
非償却資 産	土地	151,226,453,736	233,338,178	233,882,000	151,225,909,914	—	—	2,161,089,352	0	149,064,820,562	
	建設仮勘定	4,552,779,119	15,023,484,454	13,924,730,496	5,651,533,077	—	—	0	0	5,651,533,077	注3
	その他有形固定資産	315,264,659	—	—	315,264,659	—	—	0	0	315,264,659	
計	156,094,497,514	15,256,822,632	14,158,612,496	157,192,707,650	—	—	2,161,089,352	0	155,031,618,298		
有形固定 資産合計	建物	224,533,950,979	18,856,750,296	438,161,084	242,952,540,191	73,499,873,450	9,352,832,075	3,708,731,306	162,254,157	165,743,935,435	注1
	構築物	1,653,764,604	169,478,686	1,924,800	1,821,318,490	467,032,754	124,854,185	3,261,863	1,225,524	1,351,023,873	
	医療用器械備品	59,963,349,084	6,095,321,671	819,220,533	65,239,450,222	46,538,028,440	6,498,200,994	1,782,086	0	18,699,639,696	注2
	その他器械備品	10,609,832,191	3,794,662,268	483,866,330	13,920,628,129	7,838,688,277	1,564,250,647	11,212,616	0	6,070,727,236	
	車両	1,922,422,345	163,550,829	67,811,260	2,018,161,914	1,697,289,300	171,145,716	0	0	320,872,614	
	放射性同位元素	16,276,560	0	0	16,276,560	4,809,389	3,057,912	0	0	11,467,171	
	土地	151,226,453,736	233,338,178	233,882,000	151,225,909,914	—	—	2,161,089,352	0	149,064,820,562	
	建設仮勘定	4,552,779,119	15,023,484,454	13,924,730,496	5,651,533,077	—	—	0	0	5,651,533,077	注3
	その他有形固定資産	318,511,140	0	0	318,511,140	3,246,476	—	0	0	315,264,664	
	計	454,797,339,758	44,336,586,382	15,969,596,503	483,164,329,637	130,048,968,086	17,714,341,529	5,886,077,223	163,479,681	347,229,284,328	
無形固定 資産	借地権	500,000	0	0	500,000	—	—	—	—	500,000	
	ソフトウェア	10,469,359,541	4,521,031,745	136,109,234	14,854,282,052	8,673,508,743	1,503,004,089	—	—	6,180,773,309	
	電話加入権	3,828,000	4,000	12,000	3,820,000	—	—	—	—	3,820,000	
	その他無形固定資産	906,500	9,088,200	0	9,994,700	906,500	149,575	—	—	9,088,200	
	計	10,474,594,041	4,530,123,945	136,121,234	14,868,596,752	8,674,415,243	1,503,153,664	—	—	6,194,181,509	
投資その 他の資産	長期貸付金	774,033,469	373,359,053	363,463,438	783,929,084	—	—	—	—	783,929,084	
	破産更生債権等	476,399,852	454,149,342	441,013,883	489,535,311	—	—	—	—	489,535,311	
	貸倒引当金	△ 476,399,852	67,468,518	80,603,977	△ 489,535,311	—	—	—	—	△ 489,535,311	
	長期前払費用	156,597,135	624,564,955	241,032,832	540,129,258	—	—	—	—	540,129,258	
	災害備蓄在庫	48,208,348	104,208,940	104,642,494	47,774,794	—	—	—	—	47,774,794	
	その他投資資産	55,852,133	4,641,200	4,819,929	55,673,404	—	—	—	—	55,673,404	
	計	1,034,691,085	1,628,392,008	1,235,576,553	1,427,506,540	—	—	—	—	1,427,506,540	

(注1) 当期増加額は、大阪みなど中央病院新築に伴う7,136,331,581円の取得等によるものです。

(注2) 当期増加額は、MRI装置176,191,200円の取得等によるものです。

(注3) 当期増加額は、仙台病院新築に係る中間検査3,569,356,885円等によるものです。

2. たな卸資産の明細

(単位:円)

種 類	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘 要
		当期購入・ 製造・振替	払出・振替	その他		
医薬品	2,002,082,511	41,973,776,849	41,981,950,066	13,616,744	1,980,292,550	注
診療材料	891,861,875	23,598,201,590	23,540,564,343	4,981,694	944,517,428	注
給食用材料	75,017,669	2,558,718,080	2,551,639,922	0	82,095,827	
貯蔵品	275,289,385	4,128,315,926	4,120,750,473	0	282,854,838	
計	3,244,251,440	72,259,012,445	72,194,904,804	18,598,438	3,289,760,643	

(注) 当期減少額のその他は、低価法による評価損によるものです。

3. 有価証券の明細

流動資産として計上された有価証券

(単位:円)

満期保有目的債券	種 類 及 び 銘 柄	取得価額	券面総額	貸借対照表計上額	当期費用に含まれた 評価差額	摘 要
		譲渡性預金	55,500,000,000	55,500,000,000	55,500,000,000	0
	計			55,500,000,000		

4. 長期貸付金の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘 要
			回収額	償却額		
奨学金貸与	774,033,469	373,359,053	30,488,600	332,974,838	783,929,084	注
計	774,033,469	373,359,053	30,488,600	332,974,838	783,929,084	

(注) 当期減少額のうち「償却額」は奨学金貸与規程第12条等による返還免除額です。

5. 引当金の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘 要
			目的使用	その他		
賞与引当金	11,359,381,226	11,112,504,576	11,359,381,226	0	11,112,504,576	
計	11,359,381,226	11,112,504,576	11,359,381,226	0	11,112,504,576	

6. 貸付金等に対する貸倒引当金の明細

(単位:円)

区 分	貸付金等の残高			貸倒引当金の残高			摘 要
	期首残高	当期増減額	期末残高	期首残高	当期増減額	期末残高	
医薬未収金	55,929,632,200	△ 242,862,950	55,686,769,250	151,528,854	△ 3,422,076	148,106,778	
一般債権	55,929,632,200	△ 242,862,950	55,686,769,250	151,528,854	△ 3,422,076	148,106,778	注1
施設運営事業未収金	2,091,616,949	34,961,517	2,126,578,466	1,237,958	△ 140,494	1,097,464	
一般債権	2,091,616,949	34,961,517	2,126,578,466	1,237,958	△ 140,494	1,097,464	注1
破産更生債権等	476,399,852	13,135,459	489,535,311	476,399,852	13,135,459	489,535,311	
破産更生債権等	476,399,852	13,135,459	489,535,311	476,399,852	13,135,459	489,535,311	注2
計	58,497,649,001	△ 194,765,974	58,302,883,027	629,166,664	9,572,889	638,739,553	

(注) 1. 一般債権については、貸倒実績率により、回収不能見込額を計上しております。

2. 破産更生債権等(発生から1年以上経過した医薬未収金及び施設運営事業未収金)については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

7. 退職給付引当金の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘 要
退職給付債務合計額	25,815,833,513	7,128,518,667	1,808,873,031	31,135,479,149	
退職一時金に係る債務	25,815,833,513	7,128,518,667	1,808,873,031	31,135,479,149	
未認識過去勤務費用及び未認識数理計算上の差異	3,900,991,585	1,410,606,568	547,706,506	4,763,891,647	
年金資産	-	-	-	-	
退職給付引当金	21,914,841,928	5,717,912,099	1,261,166,525	26,371,587,502	

8. 資産除去債務の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘 要
労働安全衛生法等に基づく債務	569,066,817	2,541,027	0	571,607,844	注
特定放射性廃棄物の最終処分に関する法律等に基づく債務	21,142,243	21,674	0	21,163,917	注
PCB特別措置法等に基づく債務	370,440	0	0	370,440	注
不動産賃貸借契約等に基づく原状回復義務	310,259,627	663,904	253,800,000	57,123,531	注
計	900,839,127	3,226,605	253,800,000	650,265,732	

(注)資産除去債務に対応する除去費用等については、独立行政法人会計基準第91の特定はされていません。

9. 資本剰余金の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘 要
寄附金	7,797,000	4,000	0	7,801,000	注1
目的積立金	0	4,314,556,534	0	4,314,556,534	注2
販売用不動産振替評価差額金	223,363,394,008	0	0	223,363,394,008	注3
改組に係る財産的基礎相当額	91,779,351,647	0	0	91,779,351,647	注4
運営財源措置額	36,700,000,000	0	0	36,700,000,000	注5
初年度6月賞与財源措置額	10,500,000,000	0	0	10,500,000,000	注6
計	362,350,542,655	4,314,560,534	0	366,665,103,189	

※ 以下の注書きにおいて、各法令は次のとおり記載しております。

①改正前の「独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構法」(平成17年法律第71号)・・・旧RFO法

②「独立行政法人地域医療機能推進機構の業務運営並びに財務及び会計に関する省令」(平成17年厚生労働省令第145号)・・・JCHO財会省令

(注) 1. 寄附金・・・当期増加額は、固定資産の寄付によるものです。

2. 目的積立金・・・当期増加額は、利益剰余金からの振替えによるものです。

3. 販売用不動産振替評価差額金・・・財務及び会計に関する省令第3条第1項に基づき、平成26年4月1日に販売用不動産より固定資産へ振替えた際の評価差額

4. 改組に係る財産的基礎相当額・・・JCHO財会省令附則第3条第2項に基づき、旧施設運営委託先より受け入れた財産の額

5. 運営財源措置額・・・旧RFO法第15条による国庫納付金の算定において、必要として認められた新機構における運営財源措置額

6. 初年度6月賞与財源措置額・・・旧運営委託先団体から新機構に採用された職員に対し前年度勤務期間(12月から3月の4カ月分)の賞与相当額を臨時費用として支出するために措置された財源額

10. 運営費交付金以外の国等からの財源措置の明細
補助金等の明細

(単位:円)

区 分	当期交付額	左の会計処理内訳				摘要
		建設仮勘定 見返補助金等	資産見返 補助金等	資本剰余金	収益計上	
臨床研修費等補助金	172,277,442	0	0	0	172,277,442	
感染症予防事業費等国庫負担(補助)金	46,457,570	0	0	0	46,457,570	
原子力立地給付金	2,499,000	0	0	0	2,499,000	
医療施設等設備整備費補助金	64,540,000	0	2,255,000	0	62,285,000	
保健衛生施設等施設・設備整備費国庫補助金	16,944,000	0	11,598,000	0	5,346,000	
エネルギー投資促進に向けた支援補助金	59,261,293	0	59,261,293	0	0	
労災レセプトのオンライン化に向けた普及促進事業	104,000	0	0	0	104,000	
特定求職者雇用開発助成金	2,446,666	0	0	0	2,446,666	
キャリアアップ助成金(人材育成以外)正社員化コース	1,282,500	0	0	0	1,282,500	
トライアル雇用助成金	210,000	0	0	0	210,000	
[北海道外1都2府23県]【新人看護職員事業補助金】	56,350,000	0	0	0	56,350,000	
[北海道外1都1県]救急勤務医・産科医等確保事業補助金	7,545,908	0	0	0	7,545,908	
[宮城県外5県]地域医療介護総合確保事業補助金	23,532,000	0	0	0	23,532,000	
[大阪府外5県]新型インフルエンザ患者入院医療機関設備事業補助金	5,287,471	0	3,412,223	0	1,875,248	
[仙台市外27市]病院群輪番制事業補助金	173,085,963	0	28,337,138	0	144,748,825	
[大阪府外15県]病院内院内保育所運営事業補助金	44,270,000	0	0	0	44,270,000	
[宇都宮市外8市1町]救急医療体制運営費補助金	93,071,686	0	10,450,000	0	82,621,686	
[北海道外5県]地域周産期医療施設運営事業費補助金	223,173,000	0	3,067,000	0	220,106,000	
[北海道]子育て看護職員等就業定着支援事業	8,092,000	0	0	0	8,092,000	
[福井県]外国人看護師候補者終了研修支援事業補助金	418,000	0	0	0	418,000	
[福井県]防災訓練等参加支援事業補助金	99,000	0	0	0	99,000	
[福岡県外1県]へき地医療施設等運営費補助金	1,549,000	0	0	0	1,549,000	
[江東区外1市]住宅改修支援事業補助金]	32,000	0	0	0	32,000	
[大阪県外2県]がん診療施設整備事業補助金	18,081,000	0	17,596,000	0	485,000	
[京都府外1県]救急救命士病院実習受入促進事業補助金	749,000	0	0	0	749,000	
[山口県外2県]感染症指定医療機関運営事業費補助金	20,955,900	0	12,336,000	0	8,619,900	
[大阪府]産科医分娩手当導入促進事業補助金	1,669,000	0	0	0	1,669,000	
[大阪府外1府2県]女性医師等就労環境改善事業補助金	8,980,000	0	0	0	8,980,000	
[福井県]原子力災害対策施設整備費補助金	4,401,408	0	0	0	4,401,408	
[京都府外1県]がん診療連携病院等機能強化事業補助金	4,541,000	0	0	0	4,541,000	
[静岡県外1県]救急医療施設運営等事業補助金	6,773,000	0	0	0	6,773,000	
[横須賀市]障害者雇用奨励金	360,000	0	0	0	360,000	
[天草市]医師確保支援事業補助金	446,000	0	0	0	446,000	
[静岡市]医師等確保対策事業補助金	2,000,000	0	0	0	2,000,000	
[宮城県]救急患者退院コーディネーター事業補助金	2,248,000	0	0	0	2,248,000	
[宮城県]受入困難事案受入医療機関支援事業補助金	88,000	0	0	0	88,000	
[大阪府]女性医師等就労環境改善事業補助金	4,561,000	0	0	0	4,561,000	
[熊本県]産科医等確保支援事業費補助金	1,220,000	0	0	0	1,220,000	
[大阪府]看護師等養成所運営費補助金	18,038,000	0	0	0	18,038,000	
[愛知県]産科医等支援事業費補助金	550,000	0	0	0	550,000	
[山口県]医師就業環境整備総合対策事業費補助金	1,563,000	0	0	0	1,563,000	
[福岡県]産科医等確保支援事業費補助金	1,120,000	0	0	0	1,120,000	
[能代市]病児・病後児保育事業費補助金	12,064,000	0	0	0	12,064,000	
[山梨県]救急搬送受入支援事業費補助金	3,213,000	0	0	0	3,213,000	
[大阪府]救急搬送患者受入促進事業費補助金	1,206,000	0	0	0	1,206,000	
[愛知県]特殊災害・テロ対策設備整備費補助金	46,000	0	0	0	46,000	
[熊本県]防災訓練等参加支援事業費補助金	271,000	0	0	0	271,000	

(単位:円)

区 分	当期交付額	左の会計処理内訳				摘 要
		建設仮勘定 見返補助金等	資産見返 補助金等	資本剰余金	収益計上	
[札幌市]在宅緊急時後方支援病院体制当番医療機関交付金	100,000	0	0	0	100,000	
[公益社団法人日本臓器移植ネットワーク]移植検査助成金	246,000	0	0	0	246,000	
[二本松市]産後ケア事業補助金	27,216	0	0	0	27,216	
[群馬県]介護職機能分化等促進事業補助金	1,316,000	0	0	0	1,316,000	
[群馬県]医療機関における通訳機能等を備えたタブレット端末等の整備事業	162,000	0	0	0	162,000	
[埼玉県]病床機能転換促進事業費補助金	224,640,000	0	224,640,000	0	0	
[仙台市]福祉避難所備品等整備事業補助金	33,000	0	0	0	33,000	
[仙台市]事業所内院内保育施設補助金	1,385,000	0	0	0	1,385,000	
[相模原市]院内保育施設運営費補助金	922,000	0	0	0	922,000	
[高岡市]民間教育・保育施設等運営事業費補助金	9,462,000	0	0	0	9,462,000	
[千葉県]回復期リハビリテーション病棟等整備事業補助金	6,382,000	0	0	0	6,382,000	
[神奈川県]私立学校経常費補助金	3,034,000	0	0	0	3,034,000	
[横浜市]定期健康診断費補助金	20,189	0	0	0	20,189	
[富山県]入院うるおい生活事業助成金	20,000	0	0	0	20,000	
[福井県]新専門医制度対策事業	112,000	0	0	0	112,000	
[福井県]外国人患者受入体制整備事業	59,000	0	0	0	59,000	
[福井県]地域包括ケア病院等整備事業補助金	2,109,000	0	1,095,600	0	1,013,400	
[高浜町]研修医・医学生宿舍等環境整備事業補助金	5,511,943	0	0	0	5,511,943	
[高浜町]人材育成事業補助金	500,000	0	0	0	500,000	
[石川県]認知症医療提供体制整備事業費補助金	588,000	0	588,000	0	0	
[山梨県]看護職員勤務環境改善施設設備整備事業補助金	101,000	0	0	0	101,000	
[岐阜県]在宅重度障がい児者短期入所等支援事業費補助金	118,000	0	0	0	118,000	
[岐阜県]看護学生実習受入先拡充事業費補助金	235,000	0	0	0	235,000	
[低炭素エネルギー技術事業組合]CO2排出抑制対策事業費等補助金	1,080,000	0	0	0	1,080,000	
[日本腎臓移植ネットワーク]院内体制整備支援事業助成金	110,000	0	0	0	110,000	
[愛知県病院協会]病院群輪番制病院運営費補助金	10,728,120	0	0	0	10,728,120	
[愛知県]病床の機能分化と連携推進事業費補助金	404,000	0	0	0	404,000	
[愛知県病院協会]小児救急ネットワーク758運営事業補助金	7,987,400	0	0	0	7,987,400	
[四日市]三重県救急医療機関活動補助金	784,344	0	0	0	784,344	
[四日市]ID-LINK利用料負担金	327,000	0	0	0	327,000	
[大津市]大津市訪問看護ステーション体制強化事業補助金	2,940,000	0	0	0	2,940,000	
[大津市]大津市後方医療機関確保対策補助金	1,236,000	0	0	0	1,236,000	
[滋賀県]高齢者地域保健医療対策推進費補助金	37,500	0	0	0	37,500	
[滋賀県]認知症高齢者等への院内ケア実施事業費補助金	234,000	0	0	0	234,000	
[京都市]在宅療養あんしん病院登録システムあんしん病院等支援事業補助金	130,000	0	0	0	130,000	
[大阪府]緩和ケア普及啓発事業補助金	62,000	0	0	0	62,000	
[大阪府]救急搬送患者受入促進事業費補助金	4,017,000	0	0	0	4,017,000	
[大阪府]緩和ケア普及啓発事業補助金	71,000	0	0	0	71,000	
[山口県]国内外からの指導招へい事業	99,990	0	0	0	99,990	
[山口県]小児救急医療拠点病院運営事業費補助金	23,113,000	0	0	0	23,113,000	
[山口県]看護職員確保対策事業費補助金	1,248,000	0	0	0	1,248,000	
[福岡県]有床診療所等スプリンクラー等設備整備費補助金	2,028,000	0	1,750,814	0	277,186	
[福岡県]医療機関における通訳機能等を備えたタブレット端末等の整備事業補助金	236,000	0	0	0	236,000	
[福岡県]感染症外来協力医療機関設備整備費補助金	682,000	0	0	0	682,000	
[長崎県]認知症疾患医療センター運営事業費補助金	3,000,000	0	0	0	3,000,000	
[港区]院内体制整備支援事業助成金	1,030	0	0	0	1,030	
[熊本県]地域在宅医療サポートセンター事業補助金	2,299,000	0	0	0	2,299,000	

(単位:円)

区 分	当期交付額	左の会計処理内訳				摘 要
		建設仮勘定 見返補助金等	資産見返 補助金等	資本剰余金	収益計上	
[佐伯市]介護サービス航路費等補助金	111,700	0	0	0	111,700	
[宮崎県]介護事業所におけるICT導入支援事業費補助金	600,000	0	0	0	600,000	
[岐阜県]重症難病患者拠点・協力病院施設整備補助金	2,084,000	0	2,084,000	0	0	
[可児市]先進医療機器整備助成事業補助金	50,000,000	0	50,000,000	0	0	
[島根県]訪問診療等設備整備事業費補助金	847,000	0	847,000	0	0	
[熊本県]共同利用施設設備整備事業補助金	3,718,000	0	3,718,000	0	0	
[熊本県]総合診療専門医育成支援設備整備事業補助金	662,000	0	662,000	0	0	
[大分県]耐震化整備補助金	400,742,000	0	400,742,000	0	0	
計	1,896,376,239	0	834,440,068	0	1,061,936,171	

11. 役員及び職員の給与の明細

(単位:千円・人)

区 分	報酬又は給与		退職手当	
	支給額	支給人員	支給額	支給人員
役 員	(5,760)	(2)	(-)	(-)
	89,137	5	0	0
職 員	(8,893,132)	(4,339)	(-)	(-)
	150,958,912	24,004	1,596,580	2,157
合 計	(8,898,892)	(4,341)	(-)	(-)
	151,048,049	24,009	1,596,580	2,157

- (注) 1. 役員に対する報酬等の支給基準は、独立行政法人地域医療機能推進機構役員報酬規程及び独立行政法人地域医療機能推進機構役員退職手当規程によっております。
2. 職員に対する給与等の支給基準は、独立行政法人地域医療機能推進機構院長給与規程、独立行政法人地域医療機能推進機構本部職員給与規程、独立行政法人地域医療機能推進機構職員給与規程、独立行政法人地域医療機能推進機構非常勤医師及び歯科医師給与規程、独立行政法人地域医療機能推進機構非常勤職員給与規程、独立行政法人地域医療機能推進機構職員退職手当規程によっております。
3. 支給人員数は、年間平均支給人員数を記載しております。
4. 非常勤の役員及び職員は、外数として()で記載しております。
5. 中期計画においては、法定福利費等を含めて予算上の人件費としておりますが、上記明細には法定福利費等は含まれておりません。

12. 開示すべきセグメント情報

(単位:円)

	診療事業	介護事業	教育研修事業	計	法人共通	合計
I 行政コスト						
損益計算上の費用合計	354,662,601,424	13,993,106,701	1,092,445,325	369,748,153,450	2,639,888,844	372,388,042,294
その他行政コスト						
除売却差額相当額	—	—	—	—	109,471,384	109,471,384
行政コスト	354,662,601,424	13,993,106,701	1,092,445,325	369,748,153,450	2,749,360,228	372,497,513,678
II 独立行政法人の業務に関して国民の負担に帰せられるコスト	△ 4,446,418,459	△ 401,826,953	553,104,250	△ 4,295,141,162	2,532,972,526	△ 1,762,168,636
III 事業費用、事業収益及び事業損益						
事業費用						
業務費	353,361,593,322	13,993,106,701	1,077,836,768	368,432,536,791	—	368,432,536,791
一般管理費	—	—	—	—	2,295,560,111	2,295,560,111
財務費用	215,968,621	—	—	215,968,621	864,517	216,833,138
その他	355,554,941	—	—	355,554,941	2,395,415	357,950,356
計	353,933,116,884	13,993,106,701	1,077,836,768	369,004,060,353	2,298,820,043	371,302,880,396
事業収益						
医業収益	354,727,528,944	—	—	354,727,528,944	—	354,727,528,944
研究収益	437,677,810	—	—	437,677,810	—	437,677,810
介護収益	—	13,871,841,341	—	13,871,841,341	—	13,871,841,341
看護師等養成所収益	—	—	474,523,080	474,523,080	—	474,523,080
研修収益	—	—	11,435,800	11,435,800	—	11,435,800
補助金等収益	1,234,608,546	15,038,215	39,206,189	1,288,852,950	11,447,200	1,300,300,150
寄附金収益	54,186,524	1,406,675	708,000	56,301,199	—	56,301,199
財務収益	—	—	—	—	42,200,436	42,200,436
その他	2,870,793,107	520,747,422	49,567,567	3,441,108,096	1,104,972,712	4,546,080,808
計	359,324,794,931	14,409,033,653	575,440,636	374,309,269,220	1,158,620,348	375,467,889,568
事業損益(△損失)	5,391,678,047	415,926,952	△ 502,396,132	5,305,208,867	△ 1,140,199,695	4,165,009,172
IV 臨時損益等						
臨時損失	729,484,540	—	14,608,557	744,093,097	341,068,801	1,085,161,898
臨時利益	82,608,193	10,000	—	82,618,193	18,817,410	101,435,603
当期純利益	4,744,801,700	415,936,952	△ 517,004,689	4,643,733,963	△ 1,462,451,086	3,181,282,877
当期総利益	5,316,325,262	415,936,952	△ 517,004,689	5,215,257,525	△ 2,033,974,648	3,181,282,877
V 総資産						
建物	151,256,042,216	10,568,020,538	2,890,229,003	164,714,291,757	1,029,643,678	165,743,935,435
構築物	1,333,218,961	3,185,361	—	1,336,404,322	14,619,551	1,351,023,873
医療用器械備品	18,658,237,110	7,718,304	33,684,282	18,665,798,435	—	18,699,639,696
土地	134,606,469,562	2,402,246,000	4,740,742,000	141,749,457,562	7,315,363,000	149,064,820,562
ソフトウェア	5,859,108,807	56,192,174	—	5,915,300,981	265,472,328	6,180,773,309
その他	69,484,737,086	2,294,507,939	4,204,784	71,817,291,070	127,604,041,196	199,387,491,005
計	381,197,813,742	15,331,870,316	7,668,860,069	404,198,544,127	136,229,139,753	540,427,683,880

(注) 1. セグメントの区分については、独立行政法人地域医療機能推進機構法に定められている業務内容に基づき、「診療事業」、「介護事業」及び「教育研修事業」に区分しております。

2. 事業の内容

「診療事業」：地域に必要とされる医療を提供するための事業

「介護事業」：老人保健施設サービス、短期入所、通所・訪問リハ等を提供するための事業

「教育研修事業」：質の高い看護師を養成・育成するための事業

3. 事業収益のうち法人共通は、各セグメントに配賦不能な収益であり、その主なものは、土地建物等貸付料収入(331,888,270円)、宿舍貸付料収入(311,072,530円)です。

4. 事業費用のうち法人共通は、各セグメントに配賦不能な費用であり、その主なものは、管理部門に係る費用(2,295,560,111円)です。

5. 総資産のうち法人共通は、各セグメントに配賦しなかった資産であり、その主なものは、現金及び預金(66,390,418,252円)、管理部門が管理する土地(7,315,363,000円)、管理部門に係る建物(1,029,643,678円)です。

13. 関連公益法人等の概要及び財務状況等

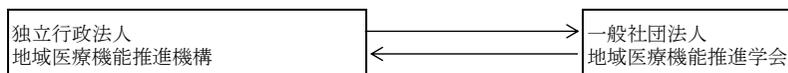
一般社団法人地域医療機能推進学会

(1) 関連公益法人の概要

名称	業務の概要	独立行政法人地域医療機能推進機構との関係	役員の名 (令和2年3月31日現在)
一般社団法人 地域医療機能推進学会	1.独立行政法人地域医療機能推進機構に勤務する当法人会員の資質の向上 2.地域医療に関する調査研究及び教育の推進	関連公益法人	理事長 尾身 茂 (独)地域医療機能推進機構理事長 理事 西辻 浩 理事 瀧村 佳代 理事 内野 直樹 理事 高橋 昌宏 理事 石岡 隆 理事 木村 健二郎 理事 関根 信夫 理事 高取 吉雄 理事 絹川 常郎 理事 住田 安弘 理事 来見 良誠 理事 山崎 芳郎 理事 渡部 昌平 理事 田中 真紀 理事 島田 信也 監事 小嶋 美之

(2) 関連公益法人との取引の相関図

当法人は、セミナー参加費及び書籍代を支払っている。



一般社団法人地域医療機能推進学会は、当法人の建物の一部を借りているため、賃借料を支払っている。

(3) 関連公益法人の財務状況

(単位:円)

決算月	資産	負債	正味財産	当期収入合計額	当期支出合計額	当期収支差額
令和2年3月	774,570,356	2,908,473	771,661,883	-	-	-

(注) 関連公益法人において収支計算書を作成していないため、当期収入合計額、当期支出合計額及び当期収支差額は記載しておりません。

(4) 関連公益法人の正味財産について

(単位:円)

一般正味財産増減の部							指定正味財産増減の部							正味財産 期末残高				
収益	収益の内訳		費用	費用の内訳			当期増減額	一般正味財産 期首残高	一般正味財産 期末残高	収益	収益の内訳		費用等		当期増減額	指定正味財産 期首残高	指定正味財産 期末残高	
	受取補助金等	その他の収益		事業費	管理費	その他の費用					受取補助金等	その他の収益						
A			B				C=A-B	D	E=C+D	F			G		H=F-G	I	J=H+I	K=E+J
52,176,781	0	52,176,781	77,146,209	37,908,075	39,238,134	0	△ 24,969,428	796,631,311	771,661,883	0	0	0	0	0	0	0	0	771,661,883

(5) 当機構が拠出等している関連公益法人の基本財産等の状況

出えん、拠出、寄付等の 明細	当事業年度において負担した 会費、負担金等の明細
-	3,186,000

(6) 当機構と関連公益法人との取引の状況

関連公益法人に対する 債権債務の明細	関連公益法人に対する 債務保証の明細	関連公益法人の 事業収入	うち当機構の発注 等に係る金額 (上段:競争契約等) (下段:随意契約等)	割合
未収金 873,860円	-	52,176,781円	12,150,960円 (0円) (12,150,960円)	23.3% (0%) (23.3%)

14. 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細

該当事項はありません。

決算報告書

決 算 報 告 書
(平成 31年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月 31日)

【独立行政法人 地域医療機能推進機構】

(単位:円)

区 分	診療事業				介護事業				教育研修事業				法人共通				合計				
	予算額	決算額	差額	備考	予算額	決算額	差額	備考	予算額	決算額	差額	備考	予算額	決算額	差額	備考	予算額	決算額	差額	備考	
収入																					
業務収入	360,529,000,000	360,335,156,854	△ 193,843,146		14,399,000,000	14,364,303,982	△ 34,696,018		578,000,000	578,115,411	115,411		897,000,000	1,216,188,271	319,188,271		376,403,000,000	376,493,764,518	90,764,518		
その他収入	41,000,000	86,877,144	45,877,144	固定資産の売却収入が年度計画より増加したことによる。									0	207,675,800,436	207,675,800,436		41,000,000	207,762,677,580	207,721,677,580	定期預金の払戻による。	
計	360,570,000,000	360,422,033,998	△ 147,966,002		14,399,000,000	14,364,303,982	△ 34,696,018		578,000,000	578,115,411	115,411		897,000,000	208,891,988,707	207,994,988,707		376,444,000,000	584,256,442,098	207,812,442,098		
支出																					
業務経費																					
診療業務経費	330,479,000,000	329,788,268,302	△ 690,731,698																		
介護業務経費					12,760,000,000	12,815,731,401	55,731,401														
教育業務経費									954,000,000	866,476,492	△ 87,523,508										
その他の経費													2,762,000,000	2,943,498,733	181,498,733	人件費及び経費の支払額が年度計画より増加したことによる。	2,762,000,000	2,943,498,733	181,498,733	人件費及び経費の支払額が年度計画より増加したことによる。	
施設整備費	46,015,000,000	30,981,494,743	△ 15,033,505,257	施設整備費の支払額が年度計画より減少したことによる。	470,000,000	119,030,639	△ 350,969,361	施設整備費の支払額が年度計画より減少したことによる。	5,000,000	36,758,799	31,758,799	施設整備費の支払額が年度計画より増加したことによる。	9,118,000,000	1,866,460,444	△ 7,251,539,556	施設整備費の支払額が年度計画より減少したことによる。	55,608,000,000	33,003,744,625	△ 22,604,255,375	施設整備費の支払額が年度計画より減少したことによる。	
その他支出	561,000,000	810,184,733	249,184,733	貸付けによる支出額が年度計画より増加したことによる。	6,000,000	7,100,400	1,100,400	リース債務の支払額が年度計画より増加したことによる。													
計	377,055,000,000	361,579,947,778	△ 15,475,052,222		13,236,000,000	12,941,862,440	△ 294,137,560		959,000,000	903,235,291	△ 55,764,709		11,880,000,000	223,449,959,177	211,569,959,177		403,130,000,000	598,875,004,686	195,745,004,686		

(注) 損益計算書の計上額と決算額の集計区分の相違の概要は、以下のとおりであります。

(1) 損益計算書の臨時利益は、決算報告書上では「その他収入」に含まれております。

(2) 損益計算書の「一般管理費」、その他経常費用のうち財務費用の「支払手数料」及び「その他経常費用」並びに「臨時損失」は、決算報告書上では業務経費の「その他の経費」に含まれております。

監查報告

監査報告

独立行政法人地域医療機能推進機構

理事長 尾身 茂 殿

独立行政法人通則法（以下「通則法」という。）第19条第4項及び同法第38条第2項の規定に基づき、独立行政法人地域医療機能推進機構（以下「法人」という。）の令和元事業年度（平成31年4月1日～令和2年3月31日）の業務、事業報告書、財務諸表（貸借対照表、損益計算書、利益の処分に関する書類、行政コスト計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及びこれらの附属明細書）及び決算報告書について監査を実施し、その方法及び結果を取りまとめたので、以下のとおり報告する。

I. 監査の方法及びその内容

各監事は、監事監査規程等に基づき、理事長、理事、内部監査部門、業績評価部門、その他職員（以下「役職員等」という。）と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、役員会その他重要な会議に出席し、役職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、本部及び施設において業務、財産の状況及び主務大臣に提出する書類を調査した。

また、役員（監事を除く。以下「役員」という。）の職務の執行が通則法、個別法又は他の法令に適合することを確保するための体制その他法人の業務の適正を確保するための体制（財務報告プロセスを含む。以下「内部統制システム」という。）について、役職員等からその整備及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求めた。

さらに、当該事業年度に係る財務諸表及び決算報告書（以下「財務諸表等」という。）並びに事業報告書（会計に関する部分）について検証するに当たっては、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適切な監査を実施しているかを監視及び検討するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めた。また、会計監査人から会社計算規則第131条で定める「会計監査人の職務の遂行に関する事項」と同様の事項の通知を受け、必要に応じて説明を求めた。

以上の方法に基づき、法人の当該事業年度に係る業務、事業報告書及び財務諸表等の監査を行った。

II. 監査の結果

- 1 法人の業務は、法令等に従い適正に実施され、また、中期目標の着実な達成に向け効果的かつ効率的に実施しているものと認める。
- 2 法人の内部統制システムに関する業務方法書の記載内容は相当であると認める。また、内部統制システムに関する理事長の職務の執行について、指摘すべき重大な事項は認められない。
- 3 法人の役員の職務の執行に関する不正の行為又は法令等に違反する重大な事実は認められない。
- 4 財務諸表等に係る会計監査人 EY 新日本有限責任監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認める。
- 5 事業報告書は、法令に従い、法人の状況を正しく示していると認める。

III. 独立行政法人改革等に関する基本的な方針等過去の閣議決定において定められた監査事項について違反する事実等は認められない。

令和2年6月26日

独立行政法人地域医療機能推進機構

監事（非常勤）

石尾 肇 

監事（非常勤）

牧 伸太郎 

會計監查報告

独立監査人の監査報告書

令和2年6月24日

独立行政法人地域医療機能推進機構

理事長 尾身 茂 殿

EY新日本 有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士

菅田裕之 

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士

矢崎弘直 

<財務諸表監査>

監査意見

当監査法人は、独立行政法人通則法（以下「通則法」という。）第39条の規定に基づき、独立行政法人地域医療機能推進機構の平成31年4月1日から令和2年3月31日までの令和元事業年度の財務諸表（利益の処分に関する書類（案）を除く。以下同じ。）、すなわち、貸借対照表、行政コスト計算書、損益計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書、重要な会計方針、その他の注記及び附属明細書（関連公益法人等の計算書類及び事業報告書等に基づき記載している部分を除く。以下同じ。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる独立行政法人の会計の基準に準拠して、独立行政法人地域医療機能推進機構の令和2年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する事業年度の運営状況及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる独立行政法人の監査の基準に準拠して監査を行った。独立行政法人の監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における会計監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、独立行政法人から独立しており、また、会計監査人のその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。この基礎には、当監査法人が監査を実施した範囲においては、財務諸表に重要な虚偽表示をもたらす独立行政法人の長又はその他の役員若しくは職員による不正及び誤謬並びに違法行為の存在は認められなかったとの事実を含んでいる。なお、当監査法人が実施した監査は、財務諸表の重要な虚偽表示の要因とならない独立行政法人の長又はその他の役員若しくは職員による不正及び誤謬並びに違法行為の有無について意見を述べるものではない。

財務諸表に対する独立行政法人の長及び監事の責任

独立行政法人の長の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる独立行政法人の会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正及び誤謬並びに違法行為による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために独立行政法人の長が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における独立行政法人の役員（監事を除く。）の職務の執行を監視することにある。

財務諸表監査における会計監査人の責任

会計監査人の責任は、会計監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正及び誤謬並びに違法行為による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正及び誤謬並びに違法行為により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

会計監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる独立行政法人の監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正及び誤謬並びに違法行為による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は会計監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、会計監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 独立行政法人の長が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに独立行政法人の長によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる独立行政法人の会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適切に表示しているかどうかを評価する。
- ・ 独立行政法人の長又はその他の役員若しくは職員による不正及び誤謬並びに違法行為が財務諸表に重要な虚偽表示をもたらす要因となることに十分留意して計画し、監査を実施する。

会計監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び独立行政法人の監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

<利益の処分に関する書類（案）、事業報告書（会計に関する部分に限る。）及び決算報告書に対する報告>

会計監査人の報告

当監査法人は、通則法第39条の規定に基づき、独立行政法人地域医療機能推進機構の平成31年4月1日から令和2年3月31日までの令和元事業年度の利益の処分に関する書類（案）、事業報告書（会計に関する部分に限る。）及び決算報告書について監査を行った。なお、事業報告書について監査の対象とした会計に関する部分は、事業報告書に記載されている事項のうち会計帳簿の記録に基づく記載部分である。

当監査法人の報告は次のとおりである。

- (1) 利益の処分に関する書類（案）は、法令に適合しているものと認める。
- (2) 事業報告書（会計に関する部分に限る。）は、独立行政法人地域医療機能推進機構の財政状態、運営状況及びキャッシュ・フローの状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 決算報告書は、独立行政法人の長による予算の区分に従って、一定の事業等のまとまりごとに決算の状況を正しく示しているものと認める。

独立行政法人の長及び監事の責任

独立行政法人の長の責任は、法令に適合した利益の処分に関する書類（案）を作成すること、財政状態、運営状況及びキャッシュ・フローの状況を正しく示す事業報告書を作成すること、並びに独立行政法人の長による予算の区分に従って、一定の事業等のまとまりごとに決算の状況を正しく示す決算報告書を作成することにある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における独立行政法人の役員（監事を除く。）の職務の執行を監視することにある。

会計監査人の責任

会計監査人の責任は、利益の処分に関する書類（案）が法令に適合して作成されているか、事業報告書（会計に関する部分に限る。）が財政状態、運営状況及びキャッシュ・フローの状況を正しく示しているか並びに決算報告書が独立行政法人の長による予算の区分に従って、一定の事業等のまとめりごとに決算の状況を正しく示しているかについて、独立の立場から報告することにある。

利害関係

独立行政法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上